平成２７年度　文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名
大分県

行　事　名　称	第６２回文化財防火デー　真木大堂（馬城山伝乗寺）文化財防火訓練
実施期間・日時	平成２８年１月１１日（月・祝）１４：００～１４：５５
実　施　場　所	真木大堂
主　　催　　者	豊後高田市教育委員会、豊後高田市消防本部、宗教法人真木大堂

■実施内容

訓練の想定

一般参拝者の不注意によるタバコの不始末により、真木大堂裏の山林から出火。火災は風速５～６ｍの季節風にあおられ次第に広がる。地元住民による初期消火に努めたが、強風のために収蔵庫及び旧本堂に延焼する恐れがあると想定。真木大堂役員は重要物品の搬出を開始。その後消防団･消防署ポンプ車による放水を想定。

訓練の内容

・通報訓練（１１９番消防署通報、地区住民への打鐘）
・初期消火訓練（バケツリレーによる初期消火）
・重要物品搬出訓練（旧本堂内の重要物品(模擬)の持ち出し）
・火災防御訓練（消防団･消防署の放水訓練）

参加者及び役割分担

・真木大堂関係者　：１１９番通報、地区住民への打鐘、重要物品の搬出、参拝者の避難誘導
・田染真木地区住民　：初期消火、重要物品の搬出
・豊後高田市消防団　：第３分団第５部（放水訓練）、第４部（後方支援・交通整理）
・豊後高田市消防本部　：放水訓練、講評
・豊後高田市教育委員会：現場立会、全体統括

特に工夫した点

地元消防団の方に消火栓の取り扱いに慣れて頂くため、今回は消火栓を使用した放水訓練を実施(例年及び前回同場所による訓練時は自然水を使用)。

問題点・課題

バケツリレーによる初期消火訓練の実効性について指摘があった。今後は、訓練用消火器などを使用した初期消火訓練の内容について検討する必要があると思われる。また、市内屈指の観光地でもあることから来訪者･観光客の避難誘導についてもより綿密な訓練内容が必要であった。

その他

市内田染地区は指定文化財の多い地域ではあるが、消防本部のある中心部からは距離があるため、火災時には消防車到着までの「初期消火」が非常に重要になってくる。また、本市は毎年「出初式」に合わせて文化財防火訓練を実施している。地元消防団や地区住民の文化財愛護思想の醸成と、防火･防災について認識を新たにする重要な機会でもあるため、今後も継続して実施していきたい。

訓練風景